

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成23年1月13日(2011.1.13)

【公開番号】特開2010-264762(P2010-264762A)

【公開日】平成22年11月25日(2010.11.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-047

【出願番号】特願2010-167916(P2010-167916)

【国際特許分類】

B 4 1 J 19/06 (2006.01)

B 4 1 J 19/04 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 19/06

B 4 1 J 19/04

B 4 1 J 3/04 101Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月14日(2010.10.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録ヘッドと、

当該記録ヘッドを搭載する搭載部を備えるキャリッジと、

当該キャリッジの結合部により結合され、駆動源から発生する動力を前記キャリッジに伝達するベルトと、
を備え、

当該ベルトにより前記キャリッジを往復移動することで、前記記録ヘッドから噴射される液滴により記録動作を行い、

前記搭載部と前記結合部とは、非線形の弾性としての特性を有する連結手段を介して連結されており、

前記連結手段は、線形の弾性を有する線形弾性部材と当該線形弾性部材の変位を規制する規制部材と、
を備え、

さらに、

前記伝達ベルトによる前記キャリッジの往復移動の際に前記キャリッジの加減速時に発生する線形弾性部材の大きなたわみを規制部材により規制する制御手段と、

を備える、

ことを特徴とする液体噴射装置。

【請求項2】

前記線形弾性部材と前記規制部材の間に隙間を設けたことを特徴とする請求項1に記載の液体噴射装置。

【請求項3】

前記連結手段は、バネ部材であり、かつ、当該バネ部材の変位方向は前記キャリッジの往復移動する方向のいずれかであることを特徴とする請求項1または2記載の液体噴射装置。